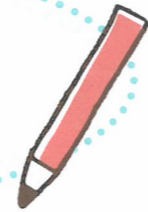




# せいでりょう 制度を利用するには、 じぜんとうろくひつよう 事前登録が必要となります



## 1. 対象となる方

福島市にお住まいの、障がいのある方。(障害者総合支援法において支援対象となる障がい者。)ただし、介護保険制度により支援が受けられる方については、介護保険制度が優先となります。

## 2. 登録手続き

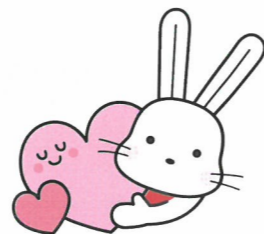
安心・安全な支援につなげるため、事前に対象者の方の情報を市に登録します。登録の手続きは、専門性を持つ相談支援専門員等が行います。登録については、以下の受付窓口までご相談ください。

① 身体に障がいをお持ちの方	福島市社会福祉協議会指定相談支援事業所 TEL : 024-563-7765 FAX : 024-533-5262 (受付時間 8:30~17:00)
② 知的な障がいをお持ちの方	清心荘指定相談支援事業所 TEL : 024-592-2020 FAX : 024-592-2020 (受付時間 8:30~17:15)
③ 精神的な障がいをお持ちの方	相談支援センターリアン TEL : 024-573-8425 FAX : 024-573-8426 (受付時間 8:30~17:00)

※ 緊急時(休日・夜間含む)の専用ダイヤルは、登録後にお知らせします

事前の備えで、

安心安全な生活を...



担当課

福島市役所 障がい福祉課 自立支援係

住所：福島市五老内町3番1号

TEL : 024-525-3746 (直通) FAX : 024-533-5263

ちいきせいかつし えんきよてんとうせいび じぎょう  
地域生活支援拠点等整備事業

# 福島市障がい者地域

# 生活支援ネットワーク



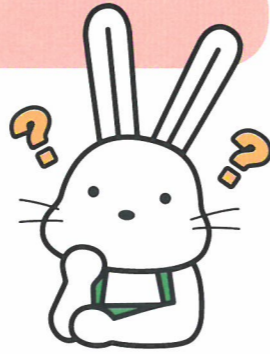
## 福島市障がい者地域生活支援ネットワークとは

障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、障がい者ご家族を地域全体で支える体制を整備します。

「家族が急な入院をした場合、支援を必要とする障がい者が自宅に取り残されてしまわないだろうか」、「将来を見据え、自立して生活する練習をしたい...」。

これらの不安に対し、障がい特性に応じた専門性をもつ相談支援専門員が話を聞き、障がい者ご家族にとって必要な支援の内容を一緒に考えます。

## きんきゅういちじうけいれじぎょう 緊急一時受入事業



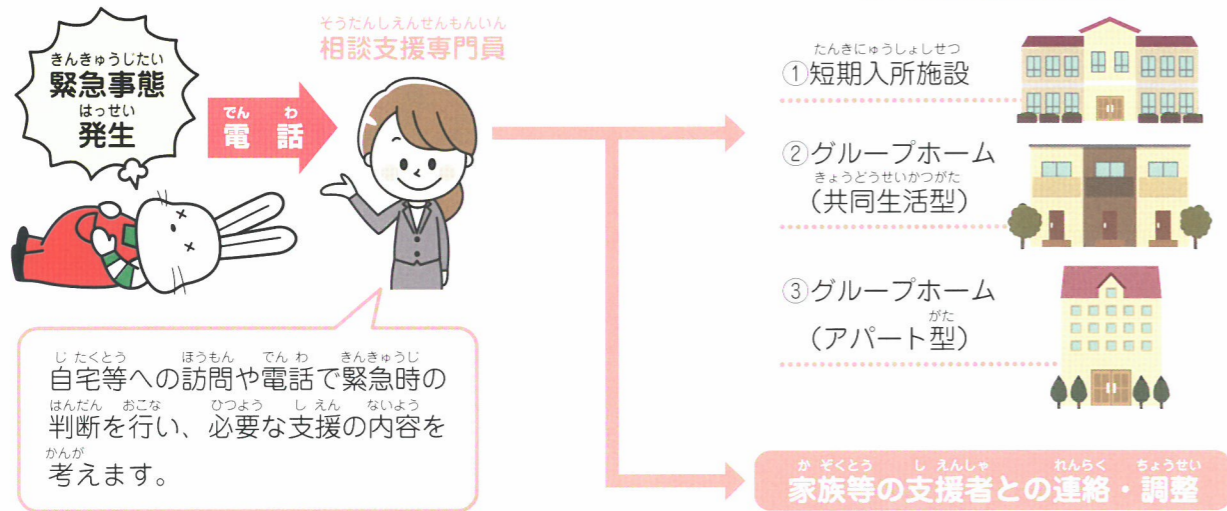
Q1

介護を行う家族が急な入院等で不在になった場合、どこに相談すれば良いのだろう？  
緊急で預かってもらえる場所は見つかるかな？

A1

介護を行う方の急病やその他やむを得ない理由により、障がいをもつご本人が自宅で生活することができない事態が発生した場合に、緊急に必要な支援を行います。事前に相談支援専門員がご本人やご家族と面談し、緊急時の必要な支援について一緒に考えます。

## きんきゅうじ れんらく し えん なか 緊急時の連絡から支援までの流れ



### 例1) 身体に障がいのあるAさん (30歳) と両親の三人暮らし

お父さんが事故で入院することになりました。お母さんは泊まりでお父さんの付き添いをしなければなりません。Aさんは食事・排泄・入浴等、生活全般に支援を要するため、一人では自宅で過ごすことができません。

短期入所施設につなげます

### 例2) 精神的な病気を抱えたBさん (50歳) とお母さんの二人暮らし

介護者であるお母さんが急な病気で入院することになりました。Bさんは家事全般ができません。一人での生活に不安があります。また、他者との関わりが苦手であるため、共同生活を行うグループホームに行くことも心配です。

グループホーム (アパート型) につなげます

## じりつおうえんたいけんじぎょう 自立応援体験事業



Q2

将来を見据えて自立できるようにしたいけれど、いきなり一人暮らしをするのは不安…。  
グループホームもどんなところが分からないし、体験をすることはできないかな？

A2

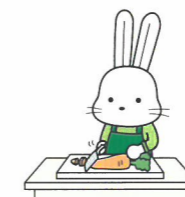
病院や入所施設から地域生活への移行を目指す方や親元からの自立を目指す方は、グループホーム (共同生活型またはアパート型) で共同生活や一人暮らしを体験することができます。

### 例1) 精神的な障がいをもつCさんが一人暮らしを目指し、グループホーム (アパート型) を体験する場合

グループホームの職員と調理や掃除等の訓練を行い、一人暮らしのイメージを持てるようにします。

#### 〈体験の場における支援の一例〉

- 職員と一緒に掃除や洗濯などの家事に取り組んでみる。
- 職員からのアドバイスに基づき、食事をつくる練習をする。



### 例2) 知的な障がいを持つDさんが親元からの自立を目指しグループホーム (共同生活型) を体験する場合

グループホームの職員より、食事の提供など必要な支援を受けながら、共同生活のイメージを持てるようにします。

#### 〈体験の場における支援の一例〉

- 事前に職員と選んだ衣服に着替える練習をする。
- 職員による食事の提供。
- ラベルシール貼りなどの作業、またはウォーキングや音楽鑑賞など、本人に合った日中活動へ参加する。



Q3

アパートやグループホームでの生活は初めてのなので、抵抗があるし不安だな…

A3

体験の場の利用は①日中+宿泊、②日中のみ、③宿泊のみの3パターンから選ぶことができます。また、ご本人の不安軽減のため、希望に応じてご家族も一緒に宿泊することができます。

